



～もう一人の自分たち～

校長 島 浦 昌 乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成 (文責：教頭 土器 修)

南中夢実現プログラム「夢をさがす」の推進 ～1学年「職業人に聞く」講演会実施～

1月19日(木)に1学年「職業人に聞く」講演会を実施しました。1学年では、生徒の望ましい職業観や勤労観の形成、課題解決能力の育成を目標に、実際に地域や企業から職業人を講師にお招きし、働く意義や働くうえで大切にしていること、中学生時に頑張っておくべきことについて講話をしていただいています。本年度は、粕屋警察署総務課総務第一係の木室哲也さまをお招きし、ご講話いただきました。

木室さまからは、警察官という職業に就いた経緯や昇進試験のこと、潜水士等の特殊な業務のことについて説明がありました。また、警察官という専門的な職業に関わる内容に加え、働くことが社会の役に立つことや得意なことが働く可能性を広げることなどについて、具体例を通して語られました。終盤、「世の中にある情報から正しいものを見つけるために必要になることは何ですか」という木室さまの問いかけに、一瞬生徒たちは沈思しました。「それは学校で皆さんが日頃から勉強していることです。」という木室さまの言葉に生徒たちは力強くうなずき、これから自分たちが一番大切にしなければならないことをつかむことができました。木室さまの気さくな、ユーモア混じりのご講話のお陰で、生徒たちは、働く意義や学校で学ぶ意味について楽しく考えを深めることができました。



木室さまの講話の様子



講演会での生徒の様子

1年1組

「大切なのはコミュニケーション能力、そしてあいさつ」「人とのつながりを大切にすること」これらの言葉は印象に残りました。木室さんは、訓練で、上司に少しきつく特訓されたことを楽しそうに話されました。また、警察学校時代は仲間とともに楽しい時間を過ごしたと話されました。仕事の中で人とのつながりを大切に、楽しく過ごせるのは素晴らしいと感じました。私もつながりをもてるようにあいさつを頑張ろうと思いました。

1年2組

仕事で大切な能力はコミュニケーション能力や健康管理能力であると分かり、予想外だったので驚きました。また、中学生のうちに身に付けた方がよい能力は、正しい情報を手に入れることでした。そのために、今行っている授業に全力で取り組むことが大切だと言われました。私も、コミュニケーション能力、健康管理能力と授業を全力で受けることを残りの2年間で頑張りたいです。そして職業を決めるときは「楽しい」と思える仕事を選びたいです。今動画に興味があるので、「楽しい」と思えるまで極めたいです。

1年2組

「『こんなに優しい警察の方がいると思わなかった』と言われたとき嬉しかった」という話の時、確かにそう言われると嬉しいだろうと感じました。時に命がけの仕事やきつい仕事があると思います。そんな時でも立ち向かっていくところがすごいし、格好よいと思いました。私も人に感謝される職業に就きたいし、そんな人になりたいです。勉強を頑張って自分にあった職業を見つけたいです。何事も立ち向かっていく姿を真似していきたいと感じました。

「食卓の力～子どもの心を育む食」～成人教育委員会主催オンライン講演会の実施～

令和4年12月5日(月)から2週間に渡り、PTA成人教育委員会主催のオンライン講演会を実施いたしました。昨年度は、本校スクールカウンセラーの津島奈々さまにオンラインでご講話いただきました。大変好評で、親子のコミュニケーションについて考える貴重な機会となりました。

そこで、本年度は九州大学大学院農学研究院助教の佐藤剛史さまにご講話を依頼し、昨年度に引き続き、オンラインでの動画配信方式で講演会を実施することとなりました。佐藤さまには「食卓の力～子どもの心を育む食」を演題にご講話いただき、その様子を動画配信した次第です。期間中、延べ36名の会員の皆さまに動画をご視聴いただきました。子どもへの思い、愛情等を再確認し、食を通して子どもと向き合う大切さを改めて実感できました。学びを共有いただいた会員の皆さま、企画、撮影等でご尽力いただいた成人教育委員会の皆さまに心より感謝申し上げます。



講演会の様子

佐藤 剛史(さとう こうし) 1973年 大分県生まれ

作家、食育研究家、九州大学大学院農学研究院助教、農学博士。

年間の講演回数100回超える。

主な著書に「ここ一食卓から始まる食教育」

「命をいただく」「すごい食当力!」「食卓の力」

いづれもベストセラー。新聞掲載、テレビ、ラジオ出演も多数。

TNC「もちもち派ストア」タカハシ「レギュラー」コメンテーター。

本講演会のチラシから講師のプロフィール



子どもの視点に立った安全・安心な環境づくりの取組について

国の「第3次学校安全の推進に関する計画」において、子どもが将来社会全体の安全意識の向上や安全な社会づくりに貢献するために、子ども自らが安全に関わる取組を推進することが求められています。例えば、これまで教員が行ってきた安全点検についても、これからは子ども自身が行い、学校事故の防止に主体的に参画していきます。

- 全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けること
- 学校管理下における児童生徒等の死亡事故の発生件数について限りなくゼロにすること
- 学校管理下における児童生徒等の負傷・疾病の発生率について障害や重度の負傷を伴う事故を中心に減少させること

「第3次学校安全の推進に関する計画」の「目指す姿」

感染症対策1つ取り上げても、マスクを着用すべき場面、はずして良い場面を生徒自らが状況に応じて判断し、適切に自らの健康を守ることが求められています。本校においても、福岡県教育委員会作成のポスターを校内に掲示し、子どもたちに主体的に判断するよう指導しているところです。また、3学期の保健委員会では、新型コロナウイルス感染症対策の手指消毒アルコールを補充する取組を始めます。これも同様の目的で行われます。保護者の皆さま、地域の皆さまにも、趣旨をご理解いただき、ご家庭、地域でご指導いただきますようお願いいたします。

ひたむきな貢献に感謝 ～読書サポーター養成講座閉講式～

1月28日（土）、令和4年度宇美町「中学生読書サポーター養成講座」閉講式がうみ・みらい館で行われました。本校から、4名の生徒（金井美諭さん、志水佑衣菜さん、大脇らんるさん、津留歩実さん）が参加しました。4人は、他校の仲間とともに、これまでの活動の内容を報告しました。ビブリオバトルを実演したことで、活動の成果を余すところなく来場者に伝えることができました。

4人は、7月の開講式から約半年間の研修を通して読書活動の充実に向けた取組を実践してきました。本校における読書活動推進の取組に尽力するとともに、POPづくりやビブリオバトルの研修を通して自らの発信力の向上にも努めました。聴衆に語りかけるような話し方、本の魅力に引き込むような内容の構成など、一人一人が自分らしい発信力を身に付けることができました。この力は、これからの授業や生徒会活動、部活動等で幅広く発揮されることでしょう。4人のこれからの活躍に期待するとともに、これまでのひたむきな貢献の姿に心から敬意を表します。

2年1組 金井美諭

先輩の姿に憧れ、新しい本と出会い、深く知りたいと思い立候補しました。POP作成、ビブリオバトルでは、本の「柱」を明確にし、強調することを学びました。人前では一番言いたいことを中心に話せるようにしたいです。

2年1組 志水佑衣菜

本がもとより好きで、人との関わりを深めながら本とふれあいたいと立候補しました。POP作成ではデザイン性、ビブリオバトルでは話し方を学びました。読書サポーターをやって、100%の頑張りを出せたと思います。

2年2組 大脇らんる

好きな本を多くに知ってほしくて応募しました。他校の仲間と本以外にも多くのことを交流できました。好きなものを伝える方法や楽しさ、大切さを学びました。人前で話す達成感を自信につなげ、最上級生として後輩を引っ張ります。

2年2組 津留歩実

図書について交流したいという新たな挑戦で応募しました。POPづくりではペンの使い方、ビブリオバトルでは人前で話す楽しさを学びました。実際に様々な人と図書について交流し、目標を達成することができました。

生徒の努力を称えて ～各種表彰～

1月10日（火）に、各種コンクールで優秀な成績を収めた生徒の表彰を行いました。

○宇美町明るい選挙啓発ポスターコンクール

佳作（糟屋地区入選）

藤木日愛希、吉岡敦輝、金井美諭、小池亜実、小宮エイミー莉幸、進藤可莉奈

入選

上瀧結来、辻村鈴那、富重梨々花、守屋藍、山川琴音、吉田加奈、清水恋華、安陪凜果、竹内加菜、

田之上祐輔、中嶋ひより、古屋颯



福岡県教育委員会ポスター「マスクを外してよい場面について」



手指消毒アルコール補充の様子



第3回講座の様子



講座で制作したPOP



実践報告の様子



閉講式の様子